

合理的な 意思決定のために

統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室統計専門職

矢野 広典

YANO Hironori

平成21年10月 総務省採用
統計局統計調査部経済基本構造統計課企画係
平成25年 4月 人事・恩給局総務課総括係
平成26年 5月 内閣官房内閣人事局(総括係)
平成27年 4月 統計局統計調査部国勢統計課労働力人口統計室
企画指導第三係
平成28年10月 現職

『皆さんの生活を統計に』

皆さんは、毎日をどのように過ごしていますか。私の担当する社会生活基本調査は、皆さんが1日の時間をどのように使っているか、また、1年間にどのような活動を行っているかを把握する統計調査です。

近年、ワーク・ライフ・バランスという言葉が耳にするようになりました。ワーク・ライフ・バランスのあり方は一人一人異なるかもしれませんが、政府がワーク・ライフ・バランスの実現に向けた施策を推進するためには、目標を定め、実現の状況を客観的に把握する必要があります。その指標として、社会生活基本調査から分かる育児・家事関連時間、通勤時間、休養・くつろぎの時間やボランティア活動の状況等が利用されています。

どのような分野の施策であっても、それを推進するためには、現状を正しく表す客観的なデータが必要となります。統計局では、統計調査の結果を通じて様々な行政施策の基礎資料を提供しています。

『統計調査も人次第』

統計の業務と聞くと、数式ばかりを扱っているのでは?と思われるかもしれませんが、統計調査は、国民の皆様、地方公共団体職員など、多くの人々と関わりながら実施しています。正確な統計を作成するためには、調査に回答してくださる皆様はもちろん、調査に携わる全ての人に調査の趣旨や必要性を理解してもらう必要があります。そこでは、統計に関する知識だけでなく、コミュニケーション能力、業務遂行能力など様々なスキルが必要となります。現在、統計に関する知識がなくても、皆さんの能力を活かせる場所があるはずですよ。

また、総務省は、統計以外にも国民生活の基盤に関わる幅広い業務を担っています。私は以前、国家公務員の人事行政に携わっていましたが、国家公務員制度改革が進む中で、統計以外の業務を経験できたことは、現在でも貴重な財産となっています。

皆さんも国民生活を支える総務省で自身の能力を発揮してみませんか。

Some One Week

Monday

全国の都道府県担当者へ調査の準備状況を連絡。調査を円滑に実施するためには、地方公共団体との連携は欠かせません。



Tuesday

調査で使用する用品について、民間事業者と打合せを行いました。

Wednesday

この日は広報活動の事前準備を行いました。調査の実施について多くの方から知っていただくため、広報活動も大切な仕事です。

Thursday

翌日の京都での会議に向けた準備・最終確認を終えて、午後には新幹線で移動です。

Friday

京都での会議に参加。調査の実施に向け、都道府県担当者へ調査事務の説明を行いました。



Private Time

どんな仕事でも、体力は大事な要素の一つ。日に日に落ちる体力をカバーするため、週末は出来る限り運動するように心がけています。

写真は通っているキックボクシングジムでの一枚。職場以外の人との交流も、とてもいい刺激になります。